科目名称	臨床看護実践と総合評価	学年学期	単位数	時間数
		第 3 学年　後期	1	30
担当教員	太田　美枝	授業に関わる実務経験	■ 有（　看護師　） □ 無	

【1】 授業概要

看護実践能力の育成における 3 年間の集大成として、状況判断に基づく安全の確認・確保と優先順位を踏まえた個別的看護実践ができる基礎的能力を養う。

客観的臨床能力試験（OSCE）を実施し到達度を確認する。

【2】 学習目標

1. 看護実践能力について理解を深め、自己の課題を明確にすることができる。
2. 看護の継続性と情報共有について実習体験から振り返ることができる。
3. 複数の受け持ち対象（事例）に対して対象を把握し、多重課題に対応することができる。
4. 対象（事例）の状況に応じた、安全で安楽な看護援助を実施できる。
5. 実施した援助を評価し、自己の課題を明確にできる。

【3】 第 1 看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

■ 1. 人間を理解し、倫理的な態度で看護を実践する力
■ 2. あらゆる対象に応じた看護を実践する力
□ 3. 地域の特性を看護に生かす力
■ 4. 保健・医療・福祉システムにおける連携・協働できる力
■ 5. 主体的に学び続ける力

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	臨床看護実践と総合評価オリエンテーション	講義
2	自己の看護実践能力の振り返りと課題	講義
3	多重課題への対応　優先順位の決定　①	講義・演習
4	多重課題への対応　優先順位の決定　②	講義・演習
5	チームで看護しよう①	講義・演習
6	チームで看護しよう②	講義・演習
7	OSCE オリエンテーション	講義
8	シナリオ患者の理解①	講義・演習
9	シナリオ患者の理解②	講義・演習
10	学力試験	試験
11	シナリオ患者の看護援助①	演習
12	シナリオ患者の看護援助②	演習
13	実技試験（OSCE）	実技試験
14	実技試験（OSCE）	実技試験
15	実技試験の振り返り	講義

【5】 評価方法

筆記試験 50%、実技試験 50％

【6】 教科書

指定なし。事例に応じたテキストを準備しましょう。

【7】 参考書

指定なし。事例に応じた参考書を準備しましょう。適宜紹介します。

【8】 受講生へのメッセージ

OSCE（客観的臨床能力試験）とは看護実践に求められる「場」「状況」の判断に基づき、対象に配慮しながら実施する能力について客観的に判断する方法である。3 年間の学びを統合してチームで複数患者を看護することを考えましょう。